

対象浄化槽を地図上で選択し、関係する情報を表示させる機能

例えば、水害等で床下浸水したエリアを設定し、エリア内の浄化槽の処理対象人員、型式が確認できる機能があると復旧においてブロワを交換する計画の策定、ブロワ発注の手配等の作業を円滑に行うことができる。

このように、浄化槽台帳にあるデータを必要な項目だけを選択し表示させる機能を搭載することで、情報が見やすくなるとともに、関係者との情報の共有を行うときに、関係者に公開できない情報を見えなくしておくことができることになる。

